

ヒト行動進化研究センターの設置について

名称・組織構成

- 名称(英語) ヒト行動進化研究センター(Center for the Evolutionary Origins of Human Behavior)
- 設置日 令和 4年 4月 1日
- 組織構成 3研究分野(高次脳機能分野、統合脳システム分野、ゲノム進化分野)
2附属研究施設(附属人類進化モデル研究センター、附属国際共同先端研究センター)で構成

改編の概要

- これまで霊長研は、国際的な共同研究の場の提供等により霊長類学の中心的な役割を担ってきたが、ヒト行動進化研究センターへの改編においては、その役割を全学的に複数の部局で連携して果たすこととする。
- 犬山地区はヒト行動進化研究センターに加え、関係部局(理学研究科、生態学研究センター、野生動物研究センター、総合博物館)の教員による研究活動及び学生の指導等を行う「京都大学犬山キャンパス」と位置づける。
- キャンパスの管理、運営にかかる事項は、「京都大学犬山キャンパス運営協議会」を設置して審議・決定する。
- ニホンザルの飼育・提供についてはヒト行動進化研究センターがその役割を引き継ぎ、学外への貢献を継続する。

今後の方向性

- ヒト行動進化研究センターの運営に関する重要事項については、「京都大学犬山キャンパス運営協議会」において審議する体制をとる。
- ヒト行動進化研究センターの運営が、軌道に乗るまでは新センターにおける教育研究活動について全学的なガバナンスのもとに実施することとし、3年以内に先端的・学際融合的研究を発展させる観点から抜本的な改組を検討する。

運営体制

